

## 民医連看護学生全国交流会 part3 の概要報告～お金の心配なく看護師になりたい！

今期 3 回目となる看護学生の集まりを開催した。各学校の垣根を越えた交流は学校としても貴重な機会となっており、全日本民医連としては学生の声を直接聴ける希少な場である。学ぶ環境を改善して誰もがお金の心配なく看護職を目指せるように、アンケート調査の結果を踏まえて国や社会に引き続き問題提起をしていきたい。

本集会の進行にあたっては、各副校長・副院長にご尽力をお願いした。また、教務主任・自治会担当教員・事務長各位にも運営のご協力をいただいた。日程調整が難しく、今回も同じ内容を二回行い学生の参加を保障した。

【目的】①2023 年看護学生全国アンケート調査の結果を学生に報告する。

②全国の看護学生の交流の場を提供する。

③国や社会に問いかける方法についてアイデアを出し合う。

【日時】2023 年 11 月 1 日(水)17 時～18 時&2023 年 11 月 2 日(木)17 時～18 時

【参加校】北海道/勤医協札幌看護専門学校、山梨勤医協 共立高等看護学院、東京勤医会 東葛看護専門学校、京都保健会 近畿高等看護専門学校、大阪/社会医療法人同仁会 泉州看護専門学校、岡山/財団法人林精神医学研究所 ソワニエ看護専門学校、福岡/公益財団法人健和会 健和看護学院

### 【プログラム】

開会挨拶 全日本民医連副会長 川上和美 さん

「2023 年全国看護学生アンケート調査の結果報告」 全日本民医連理事 藤牧和恵 さん

今後のナース★アクションについて 全日本民医連常駐理事 宮川喜与美 さん

ブレイクアウトセッション

前半:アンケート結果を受け止めての感想や意見(自己紹介も兼ねて)

後半:今後のアクションについてのアイデアなど

全体会 各グループから報告して交流

まとめと閉会



### 【概要】

ナース★アクション秋からの取り組みでは、「看護職員の処遇改善」に加えて「高等教育無償化」の運動も呼びかけている為、全国看護学生アンケート調査[4 年目]の結果を共有しながら民医連の看護学生がオンライン交流する場を企画。自治会役員中心に 7 校から 43 人が参加した。

調査から、高すぎる学費と教育ローン、物価高の中で、フルタイムでバイトをしなければ生活すらままならない実態が浮き彫りとなり、更に家計全体も含めて年々深刻さを増している。支払い能力を超えている日本の学費は、看護職養成の大きな足かせとなっている実態が明らかとなった。

参加した学生からは「この結果をクラスに持ち帰ってホームルームでみんなに知らせていきたい」「一人暮らしの友達は大変そうで、食費を削ってなんとか学校に来ている」「アルバイト禁止なので、実習中は貯金を切り崩してカツカツで過ごしている」など、自治会活動そのものも難しい中で、それでも自分たちで声を上げてこの実態を拡げていきたいという声が出された。また「本当に困っている学生は、バイトを掛け持ちしていたりして、なかなかこういう交流の場にも参加できない」など、一番大変な学生の声を拾う事の必要性も出された。

全日本民医連としては、これまでの実績も紹介しながら、当事者であるみなさんが、動画などを通じて自治会として国や社会に向けて声を挙げて欲しい旨投げかけた。学生の声は、12 月 5 日に計画しているナース★アクション全国代表者会議に反映させていく予定。

※添付;「2023 年全国看護学生アンケート調査の結果報告」

以上

# 民医連 看護学生 全国交流会 part3



お金の心配なく  
看護職を目指したい



わたしたちには  
平等に学ぶ権利  
があります

🐰 42都道府県1,214人の看護学生が応えてくれたアンケート調査の結果報告を聴いて、ざっくばらんに、おしゃべりしましょう♪

ひにち 2023年11月1日(水) or 2日(木)

じかん 17時~18時

★ どちらか都合の良い日に気軽にご参加ください。

ZOOM入口

②11月2日(木) 17時 ~

①2023年11月1日(水) 17時 ~



ミーティング ID: 864 8101 0476  
パスコード: 20231101



ミーティング ID: 814 9412 3659  
パスコード: 20231102

2023年看護学生全国アンケート調査の結果➡



きらり看護  
民医連

<https://kirarikango.com/>

# 2023年全国看護学生 アンケート調査

42都道府県 1,214人から回答を得た  
 期間：2023年7月21日～9月8日  
 方法：Googleフォームにて、県名以外は無記名回答  
 比較データとして、2020～2022年調査を引用した

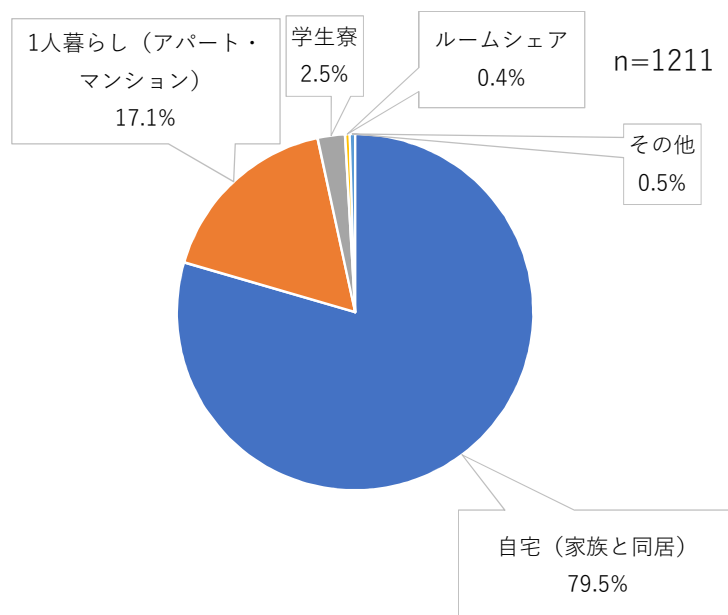
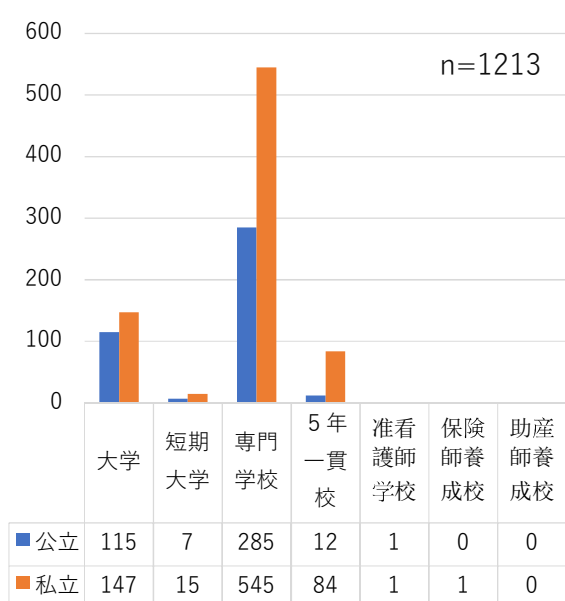
報告の柱

I 経済状況	II 学費について
III 奨学金	IV アルバイト



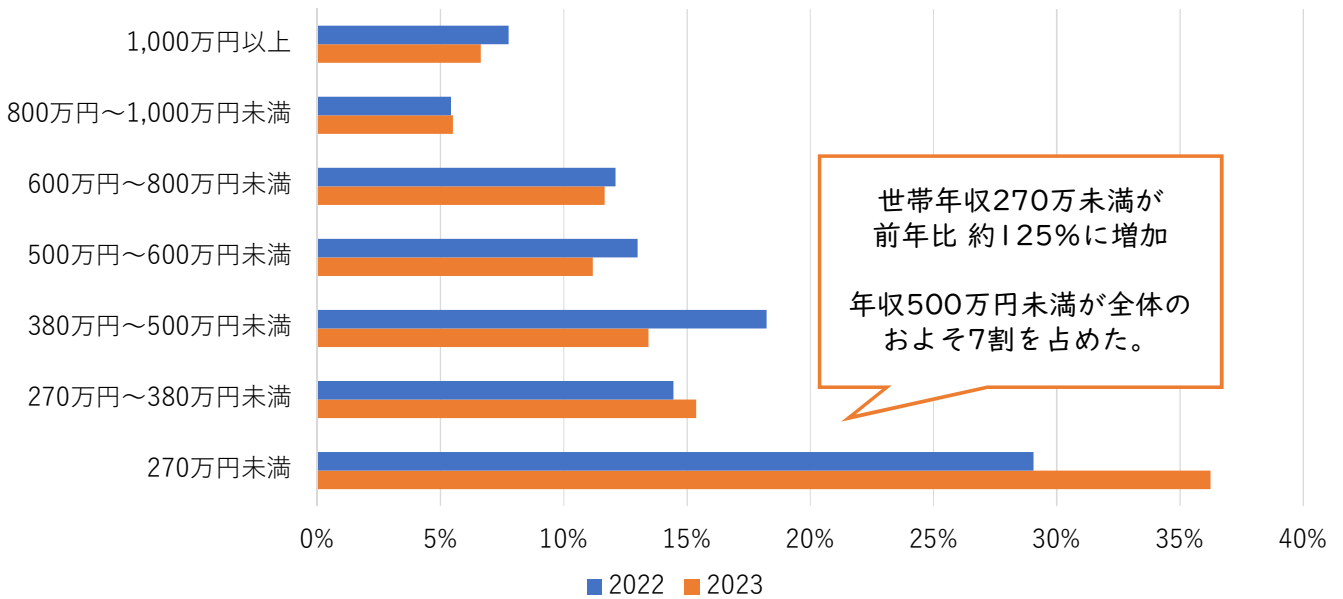
2023年10月 全日本民主医療機関連合会

## 学校種別と住まい



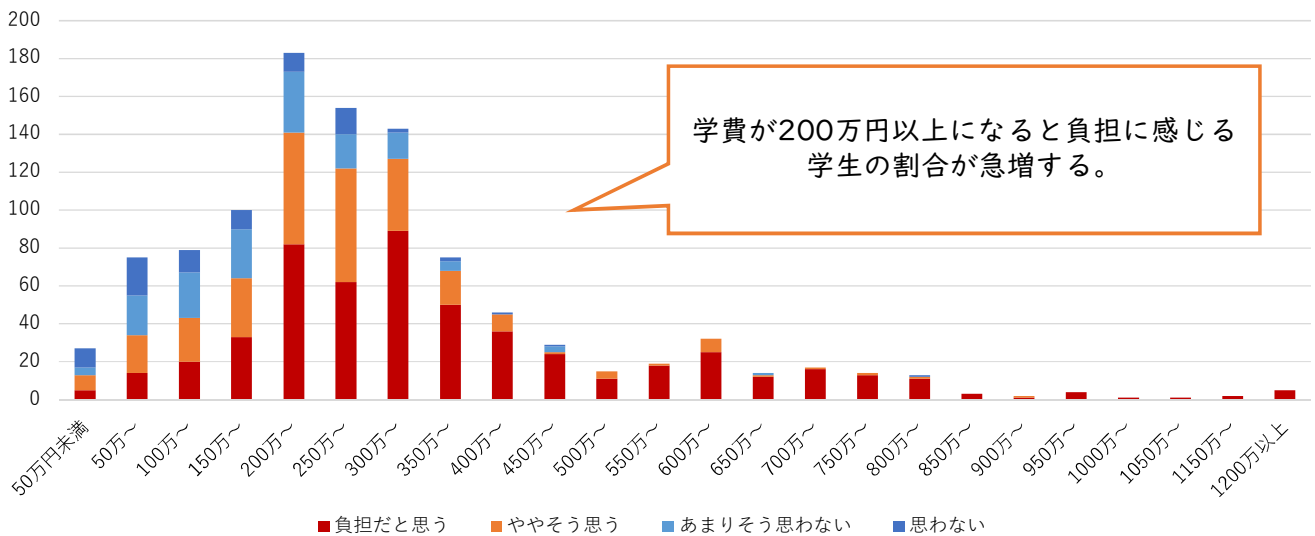
# 世帯年収が270万未満の学生が大きく増加

世帯の年収（自身のアルバイト収入を含めない）（n = 618人）



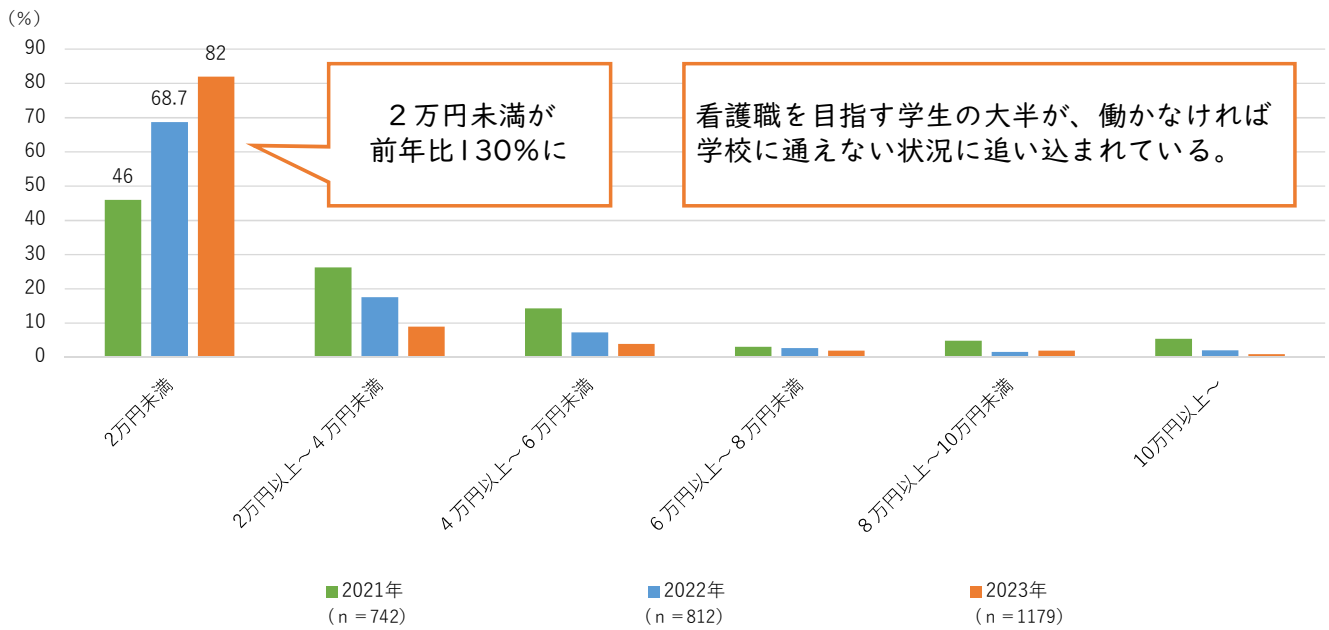
## 学費と負担感の関係

n=1124

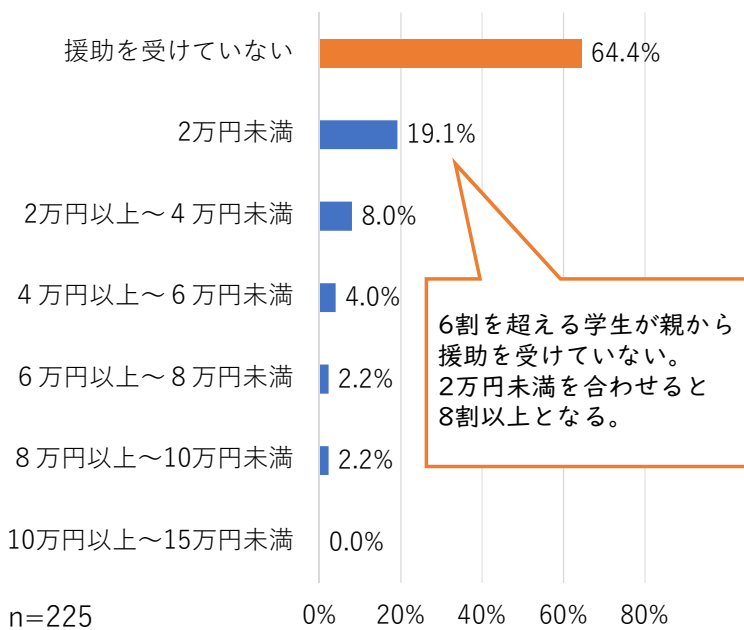


「令和2年度 学生・生徒納付金調査(文科省)」によると、看護専門学校の学費は、初年度で平均1,086,000円となっている。専門学校の多くが3年制であることを考えると、トータルで約200～300万円程度が想定される。（因みに回答者の2割を占める看護大学は500～700万円と3倍近くかかる）

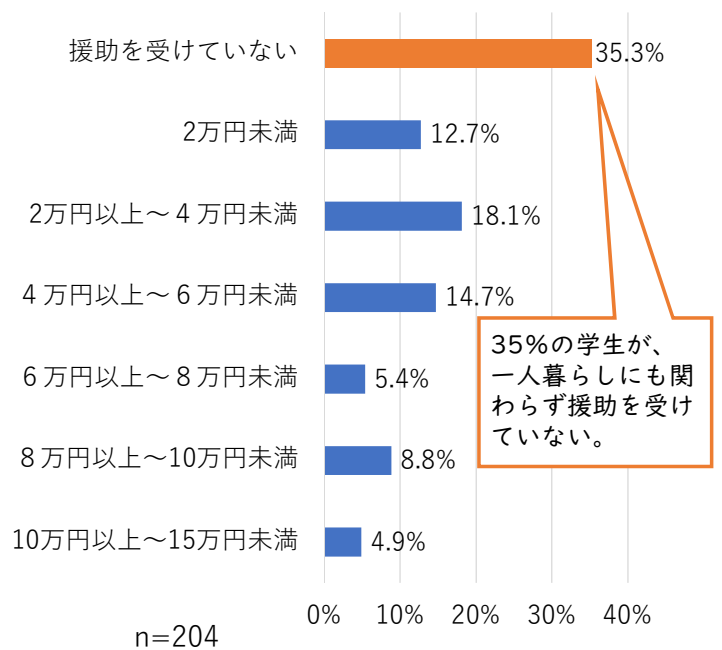
# 親などからの援助額の推移 (1カ月当たり)



## 年収270万円未満の家庭の援助額

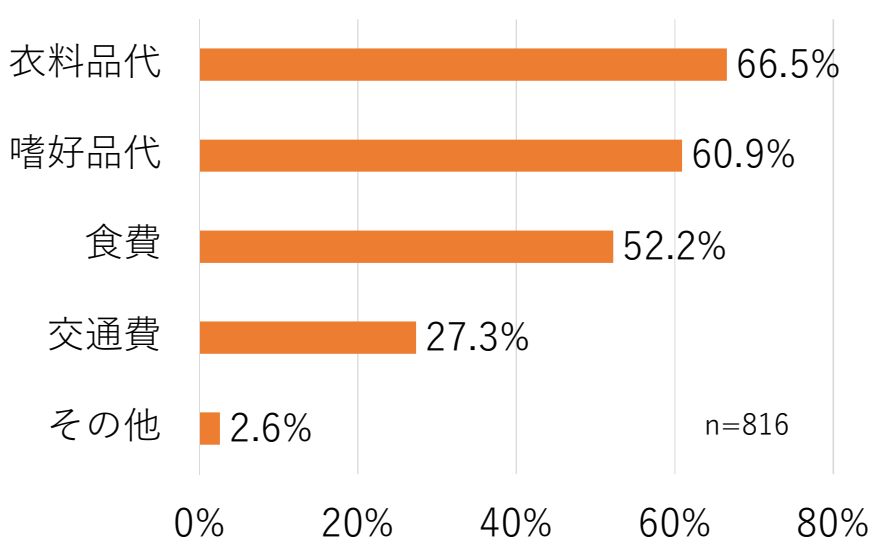


## 一人暮らしの学生の援助額



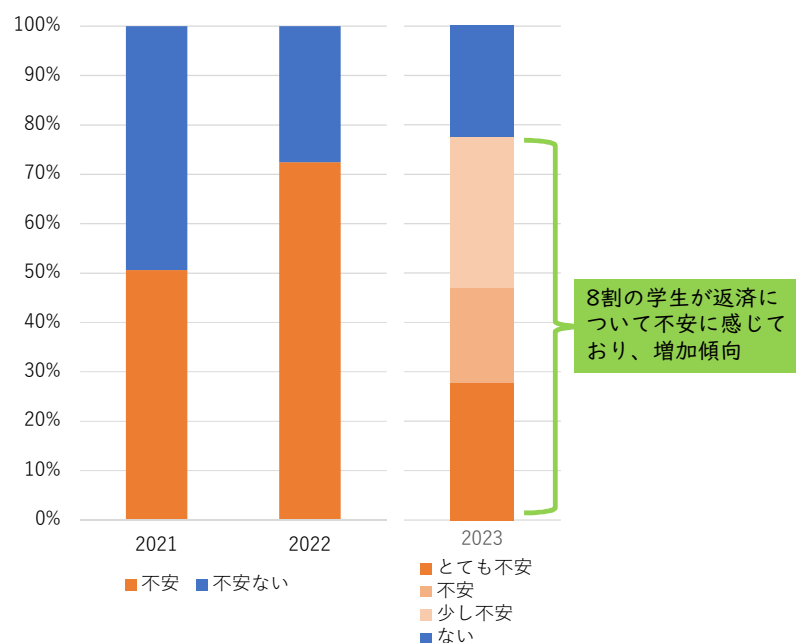
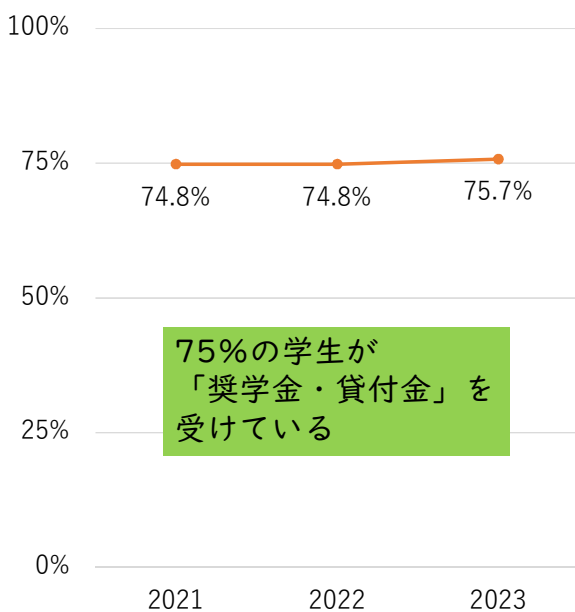
世帯年収が380万円未満まで対象を広げても援助を受けられない学生は61%と変わらない

## 経済的にゆとりがない学生は、何を節約しているか？

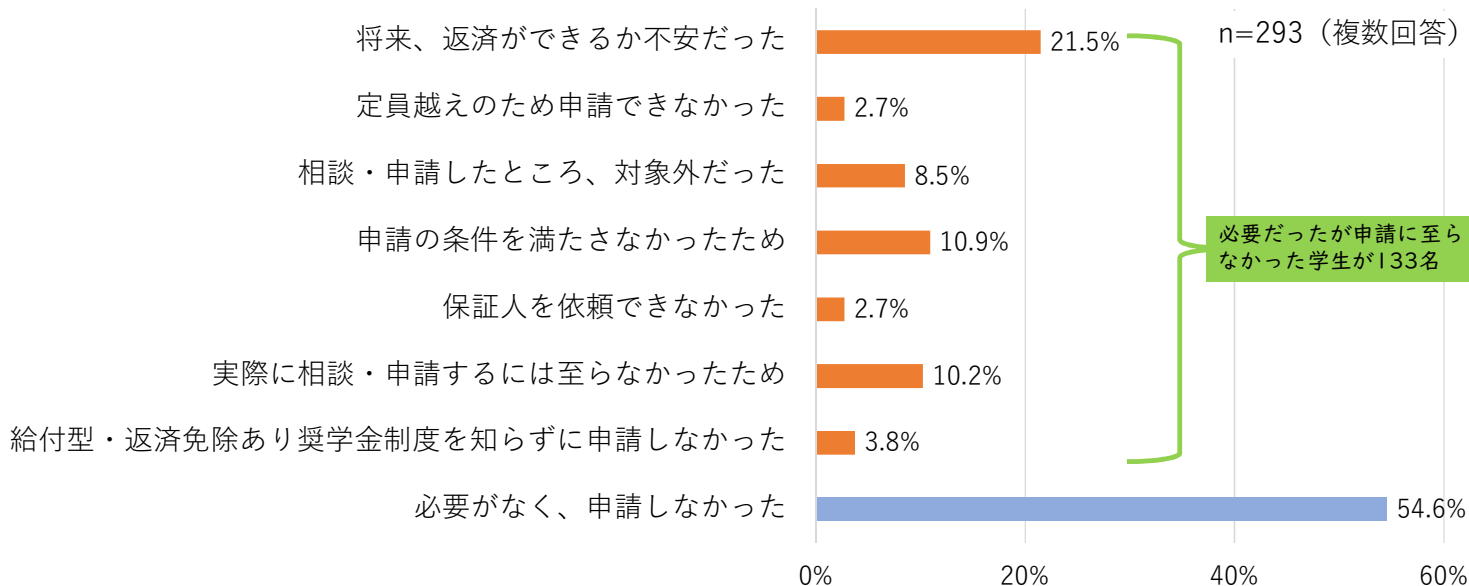


その他内訳	
電気代	9
交際費	5
娯楽	5
通信費	1
実習・授業準備費	1
歯医者	1
通院	1
外食	1

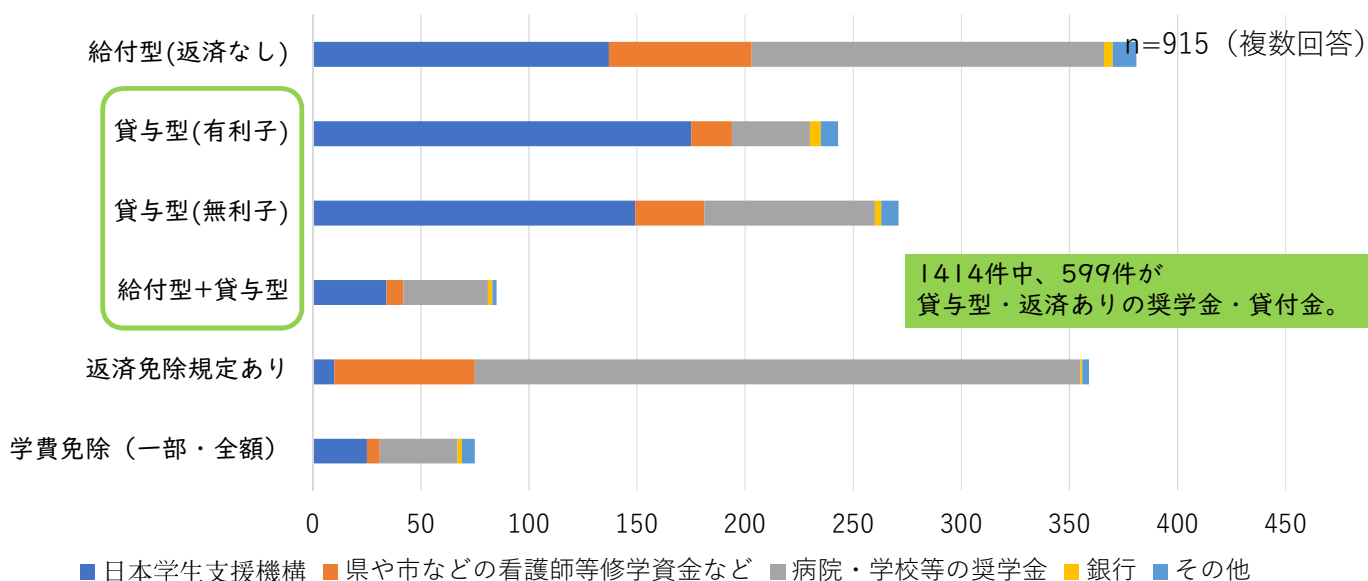
## 8割の学生が奨学金返済に不安を感じている



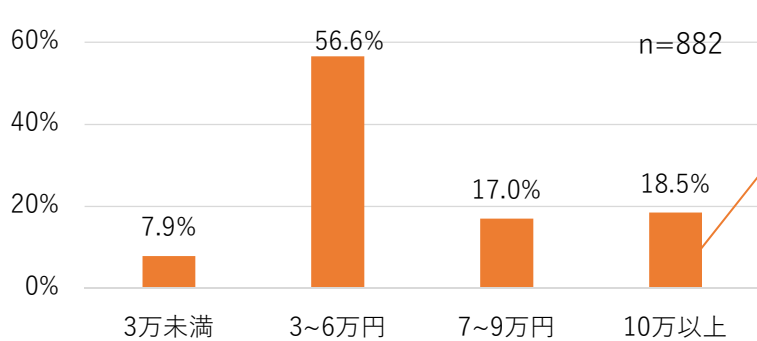
# 奨学金が必要だったが 申請に至らなかった学生が半数いた



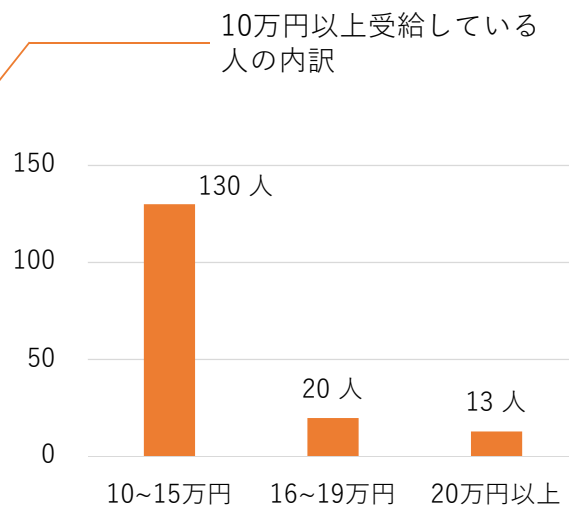
# 全体の42%を貸与型（学生ローン）が占めている



## 年間の奨学金受給額（複数受給の場合合算）

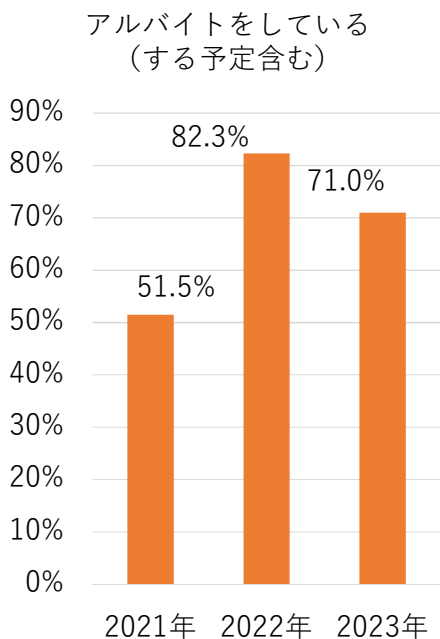


月受給額	大学		専門学校	
	卒業まで合計受給額	割合	卒業まで合計受給額	割合
3万未満	144万未満	9.4%	108万未満	7.5%
3~6万円	144~288万	45.3%	108~216万	60.4%
7~9万円	336~432万円	17.0%	252~324万円	17.1%
10万以上	480万以上	28.3%	360万以上	15.0%



総額480万円以上受給する大学生が3割  
総額300万円以上受給する学生が半数を超える  
専門学校でも250万円以上が3割を超えた。

## アルバイトをしている学生は7割 実習期間中でもアルバイトをしている学生も



奨学金だけでは足りない。  
将来の奨学金の返済も  
心配している。  
心の余裕がなくなる。

学費が高すぎて、  
アルバイトをしているのに  
生活費や参考書などを  
用意するには足りない。

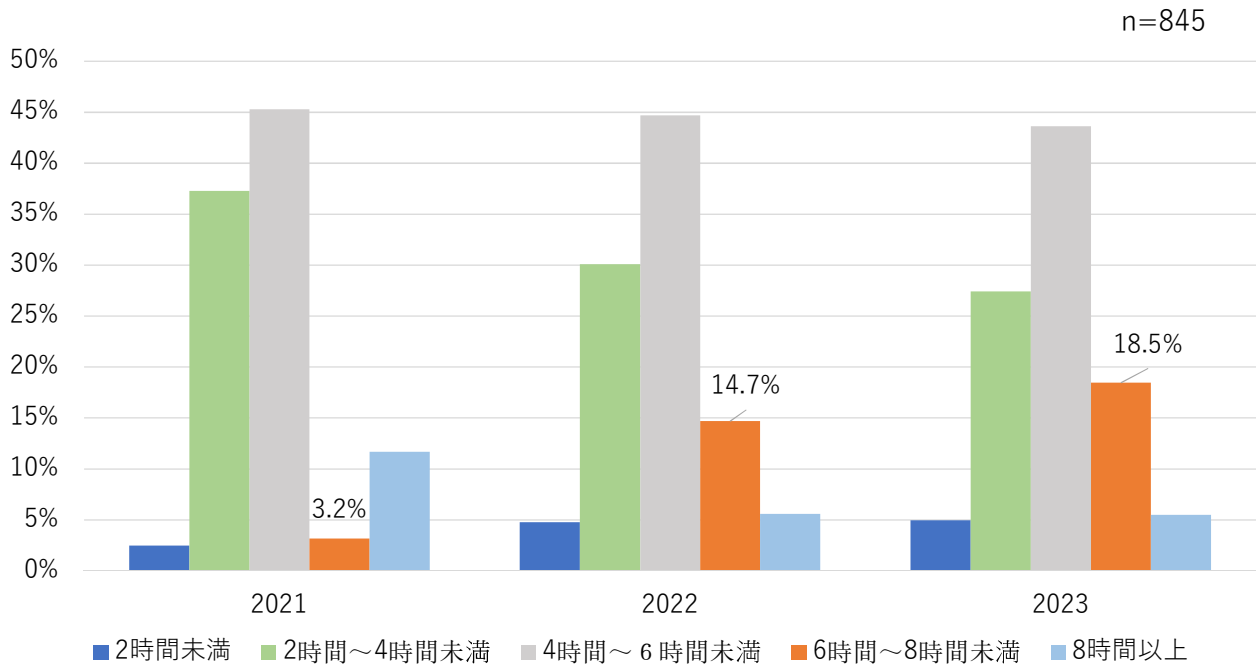
実習期間中にも関わらずアルバイトをせざるを得ない  
学生が、**12.9%**もいる

もっと給付金などの制度を  
充実させてほしい。

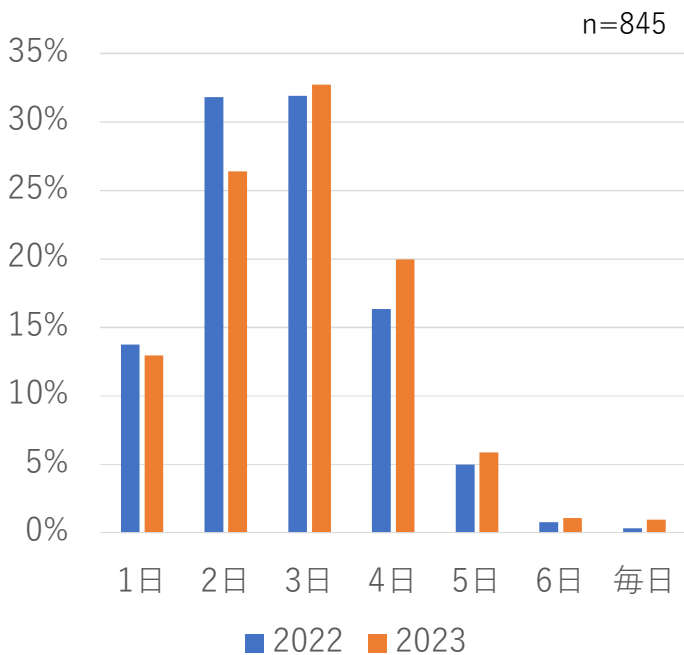
アルバイトをしなくてもいいような  
学費の見直しをしてほしい。



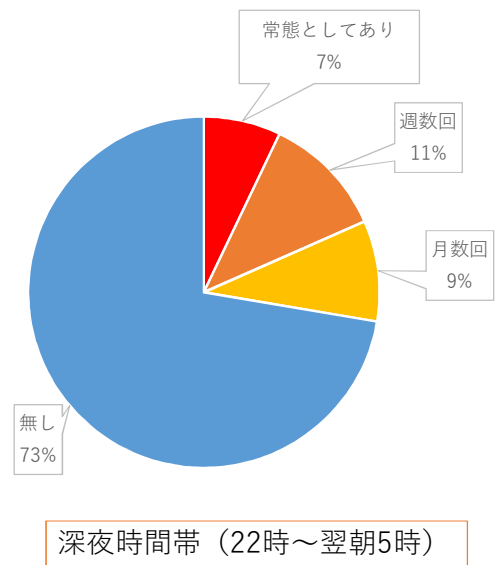
# 1日あたり6～8時間アルバイトをする学生が年々増加している



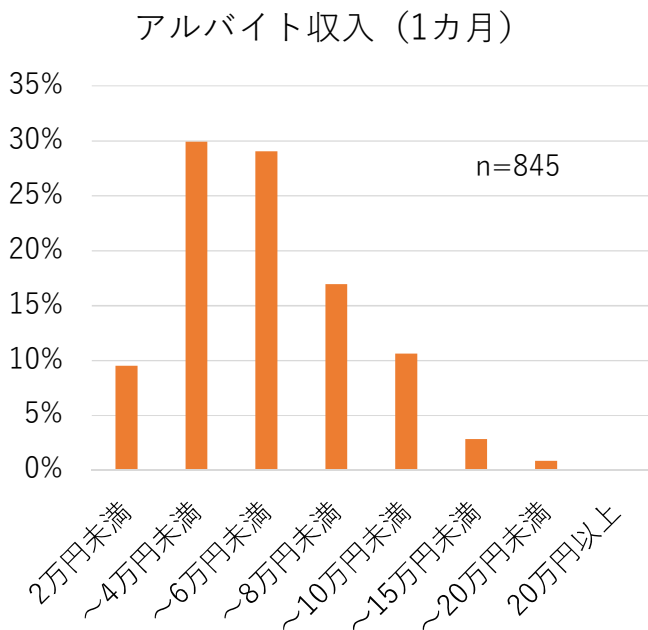
## 1週間のアルバイト日数がさらに増加している (平均)



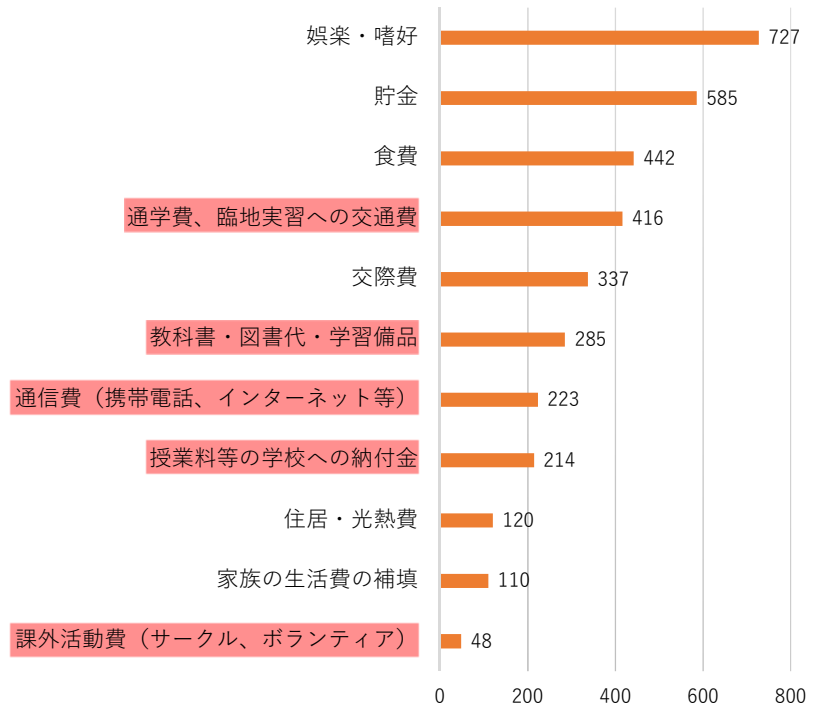
## 約3割が深夜時間帯にアルバイトをしている



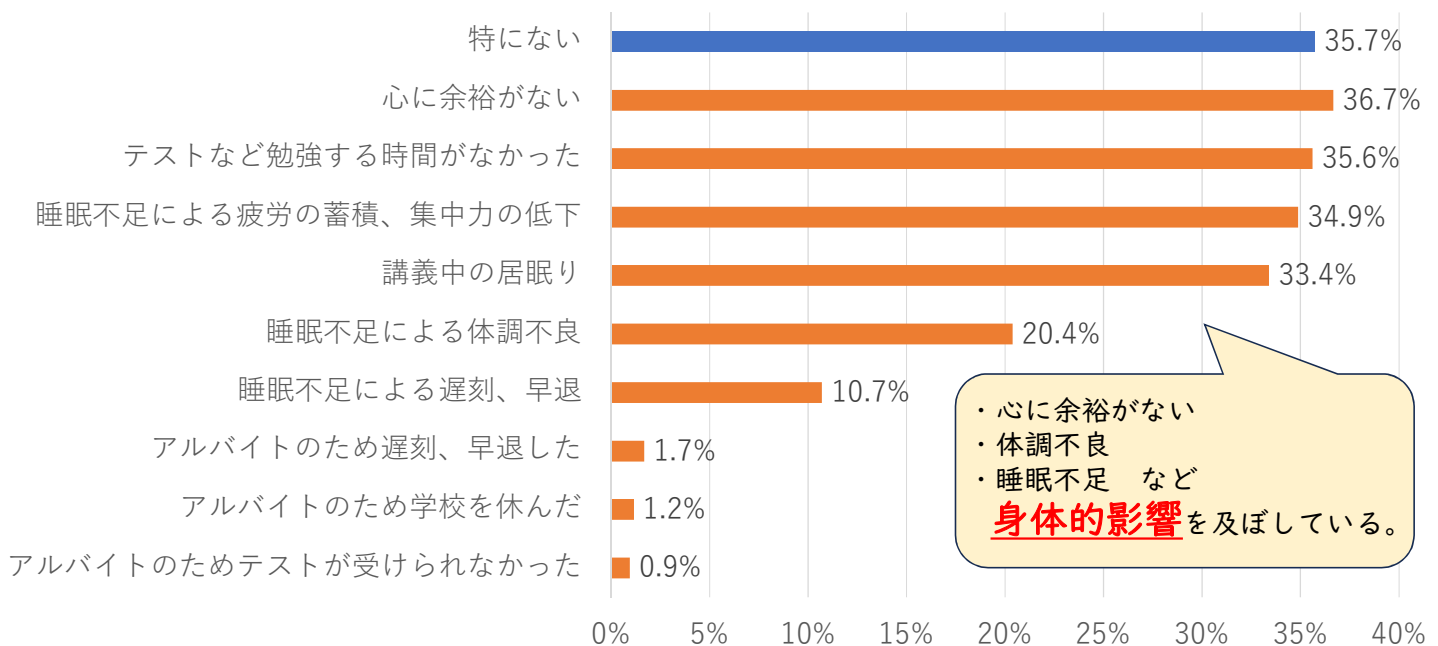
# アルバイト収入の34%が 学業に必要な費用に使われている



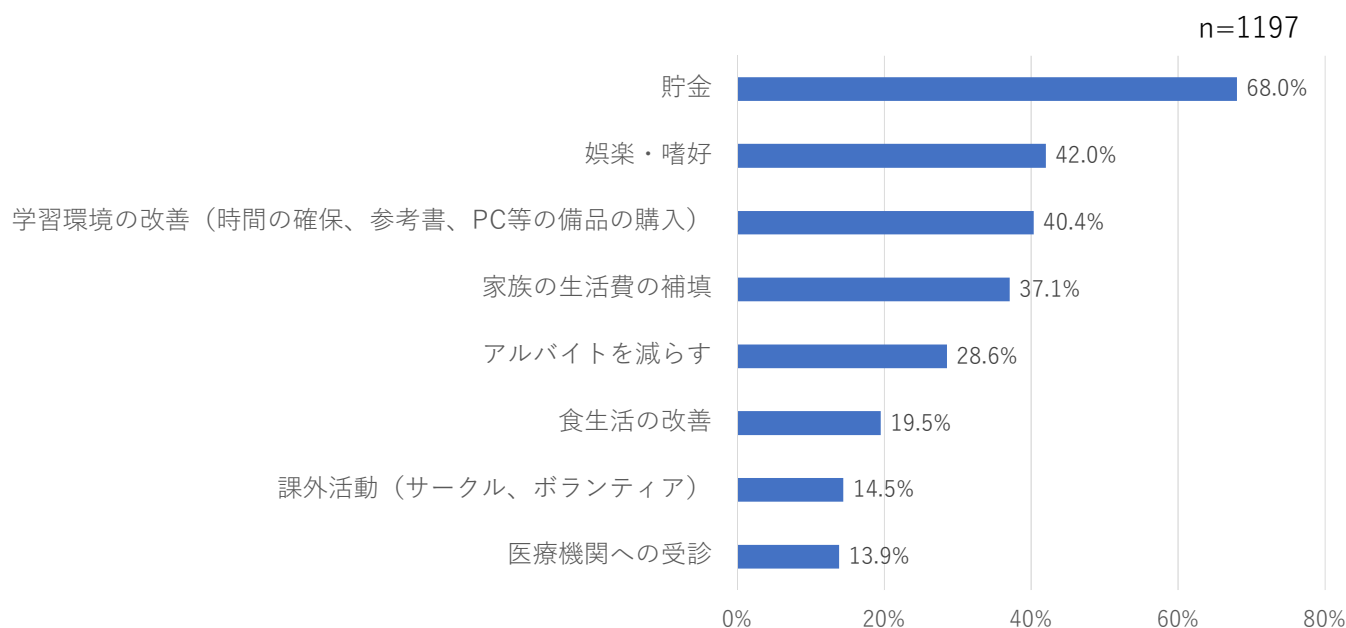
アルバイト収入の使途



# 6割以上の学生がアルバイトによって何らかの支障をきたし 学業との両立が厳しい状況にある



# 学費が無償になったら何がしたいか？



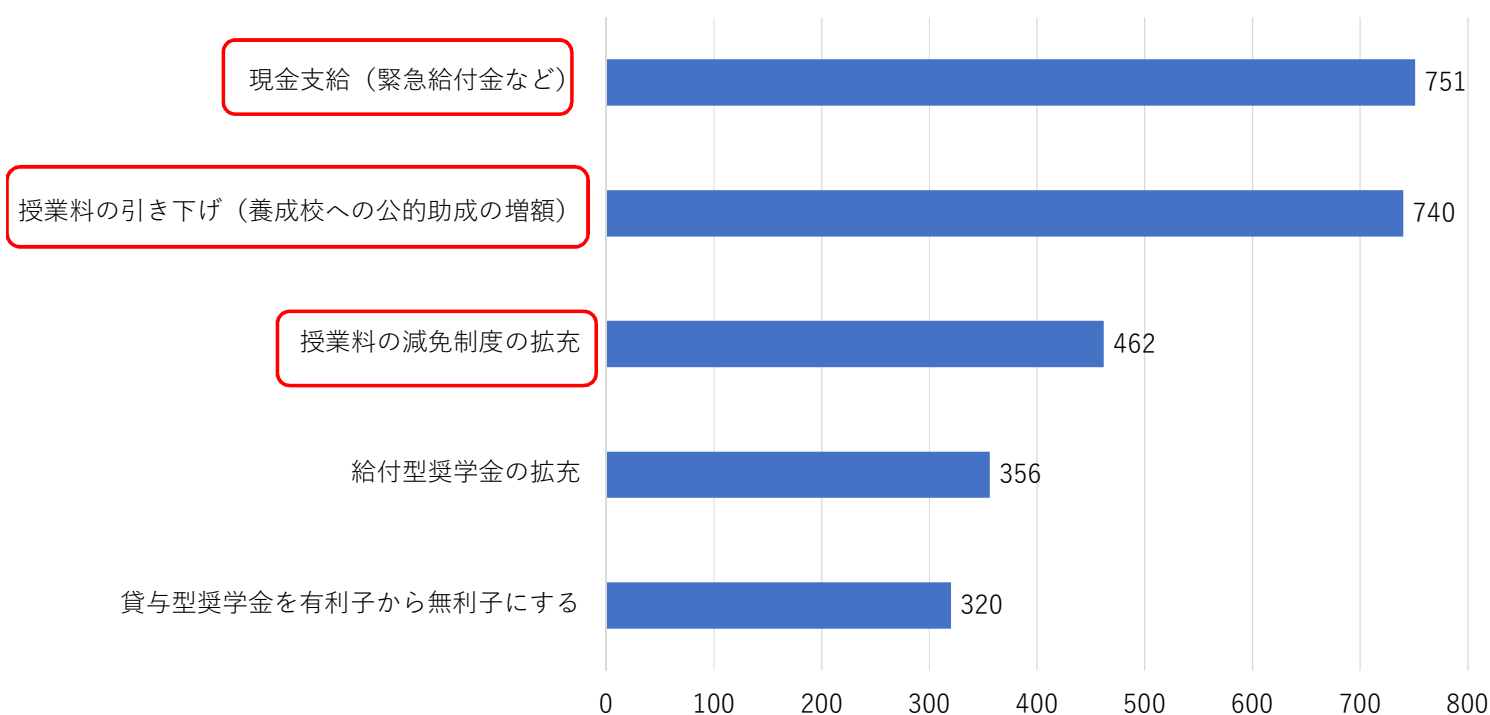
## 学生の要望（自由記載）

- 学費や交通費、その他にお金がたくさんかかる。奨学金も、もし資格が取れず返済出来なかったらと不安で申請もできなかった。
- 学びたくても、学費が高すぎて学ぶことを諦めている人も多くいると思います。もう少し、国の対策として学費を安くしたり、裕福ではない家庭への金銭的な対策、大学生の交通費や教科書代を安くするなど対策があったらもっと充実して学業に専念できたり、学ぶことを諦める人が減ると思います。
- 学生に目を向けてほしい。憧れの看護師を目指して勉強に励んでいるが、涙を流し希望を見失いそうになる毎日を過ごしています。私たちは地域の人々の健康と笑顔のために知識、技術、態度を身につけようと努力しています。その私たちが金銭的余裕がなく、高額な参考書が買えず、ほっと一息できる嗜好品も買えずにいます。
- コロナの5類化以降も、医療機関での感染対策はほとんど変わらず、学生の実習前のアルバイトの禁止は続いています。3年時はほとんど実習の為、バイトが出来ず収入が得られないという特別な困難があります。

# 調査大要

- 経済的基盤がぜい弱な中で、着る物や食べる物を削って学費に充当しながら、必死に看護職を目指そうとしている姿が浮き彫りになった。
- 8割の看護学生が奨学金返済について不安に感じており、しかも増加傾向にあることが判った。
- 奨学金を受けていない場合でも、その約半数は、必要だったにもかかわらず、保証人がいないなど要件が満たせず申請に至っていなかった。すなわち奨学金も受けられない、更に困窮している学生の存在がうかがえた。
- 看護職の資格を目指すという目的の為には、ほぼフルタイムのアルバイトが必須となっているが、そのことが学業に大きな支障となっていた。
- 日本の高学費は支払い能力を超え、看護職養成の大きな障害となっている。

## 国・自治体へ要望すること (n=1153)



## 事例～看護職養成校への聴き取り

- コロナ禍では、親の休業などで家計が厳しくなる学生がでてきました。痩せてきた学生に声をかけると、20の水だけで過していたこと、親からの仕送りがなく、学費が払えず、学校へ泣いて電話をしてきた学生もいました。
- 去年は、物価高騰の影響も加わり、授業料納入を遅らせてほしいといった相談が増えています。
- 新設された給付型奨学金には年2回、成績と世帯年収の適格認定があります。学生のアルバイト収入まで世帯収入とされている為、自活して家計を支えようとバイトを増やして認定から外されてしまった学生もあり、矛盾しています。

## 国への請願項目

1. 国際条約である「高等教育無償化」を速やかに履行すること
2. 給付型奨学金の拡充と要件緩和を行い、看護職を目指す全ての学生が利用できる制度にすること
3. 看護職養成校への国の補助金を充実させること

# 全日本民主医療機関連合会について

全日本民主医療機関連合会（民医連）とは  
無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す民間の医療・介護事業所等が加盟する全国組織。（1953年創設）47都道府県に事業所があり、職員数はおよそ8万3千人。看護専門学校は8校[北海道・秋田・山梨・東京（千葉）・京都・大阪・岡山・福岡]。

全国で毎年千人を超える看護職員を迎え入れており、学生時代から共に育ち合う為の企画や交流も重視しています。学業をサポートする目的で、加盟事業所の方針や人事政策に沿った独自の奨学金制度も運用しています。

## お問い合わせ

東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階  
職員育成部・看護学生委員会 TEL 03-5842-6451

[min-ikusei@min-iren.gr.jp](mailto:min-ikusei@min-iren.gr.jp)

きらり看護 <https://kirarikango.com/>



区分	事業所数
病院	142
有床診療所	12
無床診療所	469
歯科診療所	79
訪問看護ステーション	228
保険薬局	347
薬剤・診療材料センター	33
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	50
介護医療院	2
在宅介護支援センター	23
特別養護老人ホーム	38
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパスステーション	51
グループホーム	21
在宅介護福祉関係	215
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,749